

● 最新事情 産婦人科 / 北部病院における最新型Robot支援手術 (中面) ● 北部病院からのお知らせ (裏面)

## 乳腺外科 最新事情



乳腺外科教授・診療科長  
ちしま たかし  
千島 隆司

2023年4月から乳腺外科教授・診療科長として着任しました千島隆司です。

昭和大学では、2010年6月に昭和大学病院(旗の台)にブレストセンターを開設して以来、常に日本の乳がん診療をリードしてきました。その後、2014年には江東豊洲病院にブレストクリニック、2016年には藤が丘病院にブレストセンターを開設しました。2023年4月からは横浜市北部病院に乳腺外科を開設し、昭和大学にある4つの附属病院が協同して「患者中心の医療」を提供できるようになりました。

現在、日本では毎年10万人以上の女性が新たに乳がんと診断されます。検診の普及、治療法の目覚ましい進歩により85%以上の患者さんは乳がんを克服することが出来るようになりました。一方で、日本女性の乳がんの発病は40歳代後半にピークがあります。家庭では母として妻として多忙を極め、職場では働き盛りである女性が、ある日突然「乳がんとの闘病」を抱えることになり、その身体的精神的負担は計り知れません。国が掲げる「がん対策推進基本計画」にも示されるように、近年の乳がん診療では「がんになっても夢や希望を叶えたい」というサバイバーシップが重要視されています。「乳がんは治った…でも仕事を失った、夢をあきらめた」というのでは、長期間にわたる闘病生活が報われません。「患者中心の医療」を実践するために、医療者は患者さんの想いや価値観を共有し、「乳がん克服後」の未来を見据えた治療戦略を練っていくことが大切だと考えています。

当院乳腺外科は、「病を診る治療だけではなく、人を見る医療を大切にする」を理念とし、

1. 形成外科や再生医療施設と連携した審美性の高い乳がん手術の実現
2. 最新治療を提供するための新薬治験や臨床研究の推進
3. 遺伝相談、就労問題、がん生殖医療、メンタルヘルスなど患者支援の充実
4. 医系総合大学の強みを生かしたチーム医療の実践
5. 二人主治医制による病診連携の推進と地域包括ケアの構築

を5本柱に据えて、日々の診療に取り組んでいきます。

### 地域医療機関のみなさまへ

まだ新しく立ち上がったばかりの診療科ですが、患者さんの気持ちに寄り添いながら、一人ひとりに最適な治療を提供していきたいと思っております。横浜市内はもとより、神奈川県内の乳がん診療を支えるために精進してまいりますので、今後ともご指導お力添えのほどお願い申し上げます。

# 産婦人科

## 最新事情



産婦人科診療科長・教授  
いちつか きよたけ  
市塚 清健

2023年4月から長塚正晃から市塚清健が産婦人科診療科長を引き継ぎ新たに就任いたしました。新体制のもと引き続き地域の皆様力になれる様微力ではありますが日々努力して参りますので、患者さんのご紹介を初めご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、当院産婦人科では周産期学、婦人科腫瘍学、内視鏡手術などの専門分野のみなら

ず、女性の一生を取り扱う「女性科」として、すべての年代における産婦人科疾患の早期発見・治療と健康管理を安全安心をモットーに、当院で治療をお受けになった、または分娩された患者さん、妊婦さんが結果に拘らず納得して退院いただけることを目標として診療にあたっています。

産科診療においては多くの診療科を有する大学附属病院の特色を生かし、合併症を有する妊娠、分娩管理についてはそれぞれの疾患に合わせ、該当診療科、センターなどの協力を得て診療にあたります。特に生殖年齢女性に比較的多く見られる甲状腺疾患や膠原病などは甲状腺センター、母性内科担当医師と、最近増加傾向にあるメンタル合併妊娠についてはメンタルケアセンターと協同して診療にあたります。NICUもございますので母体搬送も積極的に受け入れています。出生前検査をご希望される妊婦さんに関しては臨床遺伝ゲノム医療センターにご紹介いただければカウンセリングから検査まで産婦人科、小児科などと緊密に連携し担当いたします。胎児異常が疑われる場合には超音波やMRIを駆使し胎児診断を行い対応いたします。胎児胸水や胎児貧血などでは胎児治療も行っています。また、無痛分娩の要望の高まりを受け、昨年からは当院でも麻酔科医師の麻酔管理の元で条件を満たす無痛分娩をご希望される妊婦さんに無痛分娩も開始いたしました。

婦人科診療では従来からの子宮筋腫などに対する内視鏡手術に加えさらに体に負担の少ないロボット手術も導入しこれまで良好な治療成績を取っています。尚、ロボット手術による広汎子宮全摘術は行っておりません。

急性期疾患については、治療後地域医療機関と連携して積極的に逆紹介あるいはかかりつけ医を紹介し、横浜市北部地域の中核病院として機能するよう心がけています。

今後とも地域の産婦人科医療の中核病院、頼りになる病院、信頼される病院となります様医師はじめスタッフ一同務めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

### 地域医療機関のみなさまへ

緊急に受診が必要と思われる患者さんにつきましては地域医療連携室(045-949-7151)へご連絡いただければ、産婦人科救急対応担当医が“Dr. to Dr.”で患者さんに関して引き継ぎさせていただきますので宜しくお願いいたします。

# 北部病院における最新型Robot支援手術 (da Vinci Xi)

今年1月より導入いたしました最新型手術支援ロボット「ダヴィンチ Xi」による手術は、適応手術も順次



拡大され、消化器外科、産婦人科、泌尿器科、呼吸器外科、女性骨盤底センターにおいて実施されています。

導入当初の1月から5月末までにすでに62件のロボット手術が安全に実施されています。引き続き、患者さんが最適な治療を受けることができるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

## ■ 呼吸器センター外科におけるロボット支援手術

肺がんや縦隔腫瘍の手術では、肺と心臓をつなぐ血管の処理や近接する心臓、肺、大動脈、食道、気管・気管支などの重要な構造物からの剥離といった繊細な操作が必要となります。当センターでは、胸腔鏡手術で低侵襲化を図りつつ、病気の根治性、手術の安全性をきちんと担保するということを心掛けて手術を行ってきました。

当院に導入された Da Vinci Xi サージカルシステムは、従来の Da Vinci に比べ汎用性が高く、より繊細な操作が可能となっており、当科でも3月より肺がんと縦隔腫瘍に対する手術を開始しました。ロボット支援下手術のデメリットとしては、触覚がないことが挙げられますが、複雑な操作を可能にするロボットアームと手ブレの補正、3Dカメラでの立体的視野など、デメリットを補うだけの技術により繊細かつ確実な操作で、出血量も少なく、疼痛も軽減され、より低侵襲な手術が可能となりました。

ただ、術中の触診など触覚を必要とする手術もあるため、何より根治性、安全性の担保を第一に考え、ロボット手術の適否を判断し行っていこうと考えております。

(呼吸器外科 診療科長・教授 北見明彦、同講師 鈴木浩介)

## ■ 泌尿器科におけるロボット支援手術

当科では2月からロボット支援前立腺全摘術を開始し、以降順調に症例数を重ねております。

ダヴィンチ手術では従来の開腹、腹腔鏡手術にくらべ、低侵襲かつ確実な手術が可能となっています。前立腺のような骨盤深部にある臓器には特に向いているとされ、出血の軽減、確実な尿路の再建(尿道膀胱吻合)などに有用です。ただ、頭低位手術のため、閉塞隅角緑内障・脳動脈瘤を有する患者様は原則適応外となっています。また、ダヴィンチ手術にもデメリットはあり、特にトラブルが起きた時の対処には豊富な手術経験が必要とされています。当科では大学病院という利点を生かし、経験豊富な医師を昭和大学病院から招聘、安全で確実な手術を心がけています。

現在手術は齋藤克幸が行っておりますが、6月に松原英司が術者認定を取得し、これまで以上にダヴィンチが活用できるようになります。現在は前立腺癌手術のみを行っていますが、泌尿器科分野では腎癌・腎盂尿管癌・膀胱癌・腎盂尿管移行部狭窄症、にダヴィンチ手術が適用されています。今後当科でも随時、症例範囲を広げていく予定です。

(泌尿器科 診療科長・教授 富士孝藏、同講師 齋藤克幸)

# 北部病院からのお知らせ

## 1 逆紹介率の向上に取り組んでいます

関係医療機関のみなさまには、日頃より患者さんをご紹介いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。病院全体で逆紹介率の向上に取り組んでおり、2022年度は月平均92.7%となりました。引き続き、逆紹介率の上昇に向けた対策やその実施に取り組んでまいります。

## 2 高度医療機器共同利用について

地域医療支援病院として、CT、MRI、PET/CT等の共同利用を推進しております。2022年度はCT 61件、MRI 17件、PET/CT 258件のご利用がありました。

検査のご予約は、地域医療連携室（TEL：045-949-7151 月曜～土曜 8時～17時受付）までお願いいたします。

なお、単純撮影（造影剤を使用しない検査）に限りませんが、CT・MRIは平日17時から時間外での撮影も実施しております。この時間帯は予約を取りやすい状況ですので、是非ご連絡いただけますようお願いいたします。

## 3 月曜日祝日（国民の祝日にあたる月曜日）の対応

日付	曜日	休日名	対応
7月 17日	月	海の日	※救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。 ※紹介状がない場合は選定療養費（8,800円）が別途発生いたします。
9月 18日	月	敬老の日	

※10月9日（スポーツの日）及び来年1月8日（成人の日）も同様の対応となります。

## 4 病診連携研修会の予定

開催日時	名称・内容	場所	担当医師等・連絡先
2023年 7月23日（日）	第23回 EMR/ESD研究会	TFTビル （東京ファッション タウンビル） 西館2F	消化器センター 林 武雅 045-949-7265 ホームページ （プライベートサイト） 参照